

確実な点検と着実な補修による安全・安心な高速道路を目指して ～インフラ長寿命化計画に基づく個別施設計画の公表～

2024年1月31日
中日本高速道路株式会社
定例記者会見 資料4

○NEXCO中日本インフラ長寿命化計画※¹に基づき、『NEXCO中日本個別施設計画』※²を策定し公表いたしました。

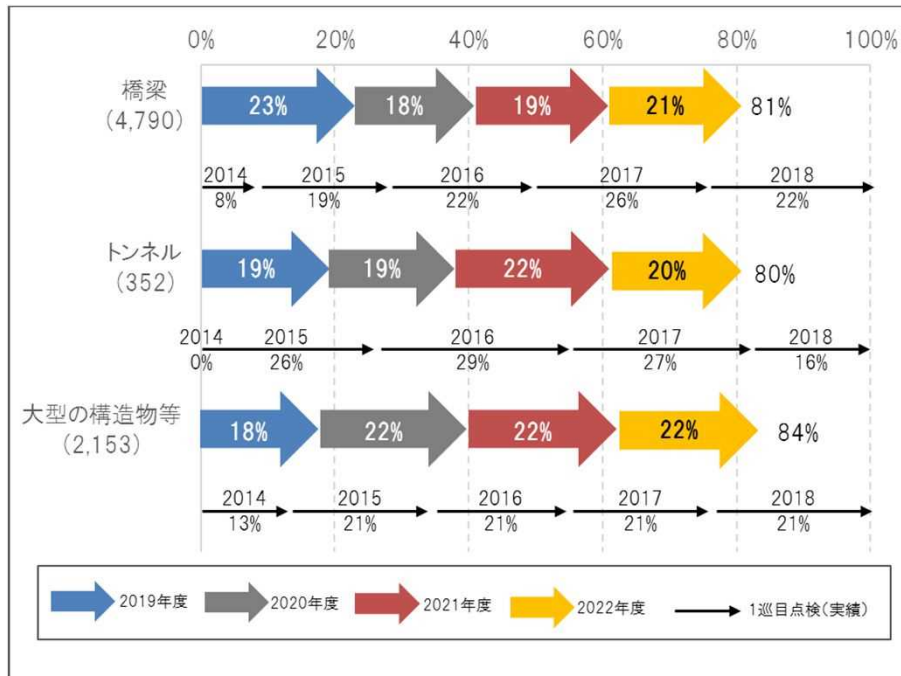
○この計画は、当社が管理する高速道路の構造物のうち、法令で位置づけられた橋梁やトンネルなどの施設について、法令に基づく5年に一度の確実な点検の計画、施設の健全性の診断、診断の結果早期措置が必要な施設についての着実な措置を行うために、2016年度から毎年度策定しているものです。

※¹ NEXCO中日本インフラ長寿命化計画とは、国の「インフラ長寿命化基本計画」に基づき、当社が管理する高速道路等の維持管理・更新等を着実に推進するための中長期的な取組みの方向性を明らかにした計画。2021年12月（令和3年）「に第2次インフラ長寿命化計画」として策定・公表しております。

※² これまでは弊社HPに掲載することで公表

(1) 2巡目(2019～2022年度)の点検の実施状況

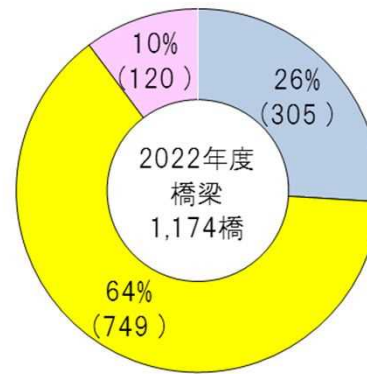
2巡目(2019～2022年度)の累積点検率は、橋梁81%、トンネル80%、大型の構造物等84%となっており、点検作業は計画的に進捗しています。



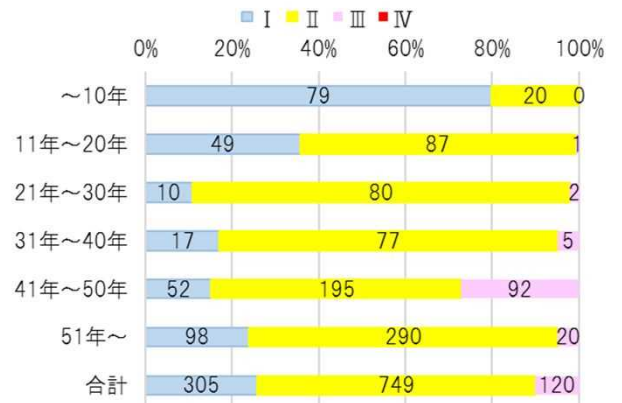
(2) 2022年度の点検結果(橋梁の例)

管理する橋梁6,111橋のうち、2022年度は、1,174橋について点検を実施し、その結果は、判定区分Ⅰ：305橋、Ⅱ：749橋、Ⅲ：120橋、Ⅳ：0橋となっており、早期措置段階の判定が約1割、緊急措置段階のものは確認できませんでした。

(2022年度の判定区分)



(建設経過年度別の判定区分)



判定区分	状態
Ⅰ 健全	構造物の機能に支障が生じていない状態。
Ⅱ 予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
Ⅲ 早期措置段階	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。
Ⅳ 緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。

確実な点検と着実な補修による安全・安心な高速道路を目指して ～インフラ長寿命化計画に基づく個別施設計画の公表～

(3) 修繕等措置の計画(橋梁の例)

- ・判定区分Ⅲ以上の施設は次回(5年後)点検までに修繕等の措置を行うこととしています。
- ・点検1巡目(2014～2018年度)で確認された判定区分Ⅲの施設のうち、2017年度までに確認された施設は全て5年以内で修繕等措置が完了していることを確認しており、2018年度に確認された施設もすべて2023年度完了見込みとなっています。
- ・点検2巡目(2019～2022年度)に確認された判定区分Ⅲの施設についても、5年以内にすべての措置を完了する計画としています。

○橋梁の1巡目(2014～2018年度)の修繕等措置の実績及び計画

点検年度	判定区分Ⅲ以上の施設数	措置実績数										措置計画数					2022年度末措置実績									
		2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度											
1巡目	2014年度	79	0	14	4	17	21	23																	79	
	2015年度	153		2	9	13	21	73	35																	153
	2016年度	151			0	1	13	23	85	29																151
	2017年度	240					2	7	14	71	88	58														240
	2018年度	144						0	12	9	23	45	55													89
	小計			0	16	13	33	62	145	200	140	103	55													712

○橋梁の2巡目(2019～2022年度)の修繕等措置の実績及び計画

点検年度	判定区分Ⅲ以上の施設数	措置実績数										措置計画数					2022年度末措置実績										
		2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度												
2巡目	2019年度	109							0	6	1	28	47	27												35	
	2020年度	128								0	0	10	4	65	49												10
	2021年度	229											1	6	16	5	154	47									7
	2022年度	120													0	3	0	7	48	62							0
	2023年度																										
	小計									0	6	2	44	70	97	210	95	62									52
合計			0	16	13	33	62	145	206	142	147	125	97	210	95	62										764	

確実な点検と着実な補修による安全・安心な高速道路を目指して ～インフラ長寿命化計画に基づく個別施設計画の公表～

(4) 修繕等措置の事例

【補修前】 トンネル 覆工コンクリートの劣化

- 判定区分Ⅲの状況
車線上の覆工コンクリートの材質劣化(浮き、はく離)
(2017年度点検)



【補修後】

- 補修の状況
劣化箇所を除去し断面修復材により補修
(2020年度補修)



【補修前】 鋼板桁橋の端部の腐食

- 判定区分Ⅲの状況
漏水による鋼橋端部の鋼材の断面減少を伴った損傷
(2017年度点検)



断面減少

【補修後】

- 補修の状況
断面減少部を当て板により補修、及び著しい錆の範囲を塗装により補修
(2022年度補修)



当て板による補修